

1. 事故発生の日時

平成21年7月31日（金） 14時20分頃

2. 事故発生の場所

伊都郡かつらぎ町

3. 事故発生場所の工事名、工期、工事概要

工事名：平成21年度 臨交金  
道路改良工事  
工期：平成21年 6月30日～平成22年 1月20日  
工事概要：人力吹付法面取壊 819㎡  
機械吹付法面取壊 866㎡  
現場吹付法砕工(300×300) 1,483㎡  
排水工 一式

4. 請負業者名 県内建設業者

5. 事故発生状況

吹付法面のモルタル取り壊し作業中、1段目小段に見張り役兼小段清掃作業を行っていた作業員（被災者）が、親綱から親綱への移動時に安全帯を一時取り外した際、足を滑らせ転落し負傷。

○男性1名負傷（下請け） 23日の休業  
右腎損傷、右血胸、右多発肋骨骨折、  
右腓（くるぶし）骨骨折

6. 事故原因

- ・ 足下の安全確認をせずに、安全帯のフックを外した。
- ・ 1段目という比較的低い箇所での作業による安全意識の低下。

7. 改善対策

- ・ 親綱から親綱への移動は、安全帯への2重がけとする。（フリーな状態にしない）
- ・ 作業前に小段等の点検を行い、小段等の砂、コンクリート片はこまめに掃除し、足下の障害物を取り除く。
- ・ 通常実施している安全活動の継続はもとより、作業員の安全意識向上の徹底をはかる。
- ・ 親綱の点検を毎日実施し、劣化が見つかれば、すぐに取り替える。また、取り替えた親綱の取付確認も行う。